

健康管理事業 実績報告

2019年版

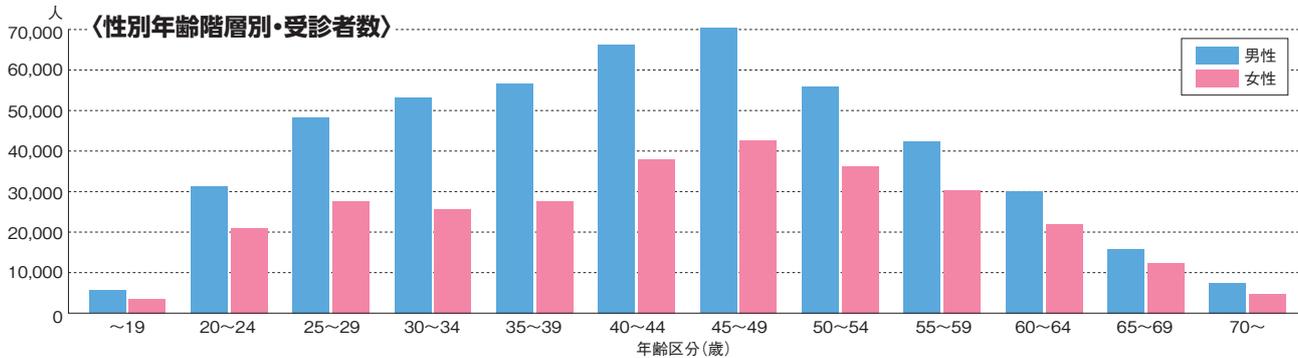


健康管理事業実績

定期健康診断受診状況

■2018年度(2018年4月～2019年3月)職域就労者を対象として行った定期健康診断の受診状況は、KKCの健康管理・判定システムに基づいて集計しました。独自の判定・管理基準を持つ職域・地域・学校の受診状況は、集計から外しています。

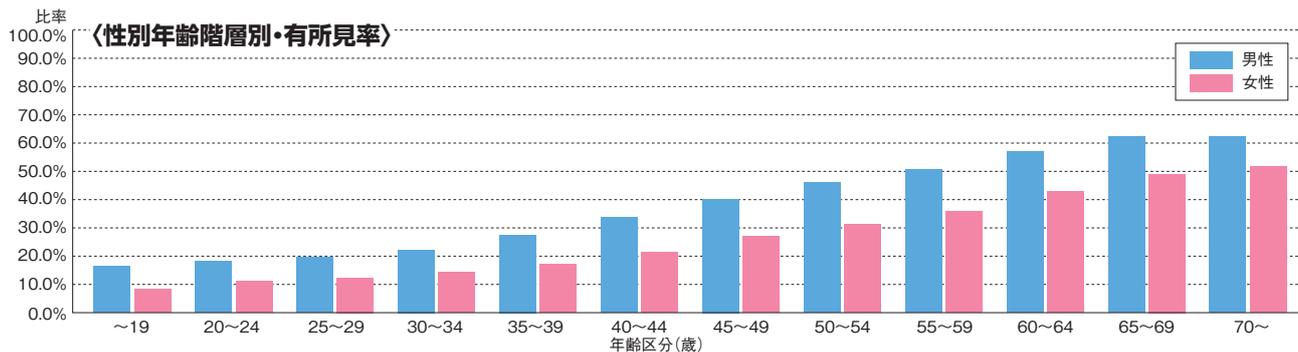
性別年齢階層別・受診者数と割合



年齢(歳)	男性		女性		合計	
	受診者数(人)	比率(%)	受診者数(人)	比率(%)	受診者数(人)	比率(%)
～19	5,640	1.2%	3,668	1.3%	9,308	1.2%
20～24	31,256	6.5%	21,066	7.2%	52,322	6.8%
25～29	48,229	10.0%	27,689	9.5%	75,918	9.8%
30～34	53,231	11.0%	25,612	8.8%	78,843	10.2%
35～39	56,551	11.7%	27,705	9.5%	84,256	10.9%
40～44	66,065	13.7%	37,963	13.0%	104,028	13.4%
45～49	70,210	14.5%	42,493	14.6%	112,703	14.6%
50～54	55,788	11.6%	36,126	12.4%	91,914	11.9%
55～59	42,329	8.8%	30,392	10.4%	72,721	9.4%
60～64	30,133	6.2%	21,896	7.5%	52,029	6.7%
65～69	15,728	3.3%	12,404	4.3%	28,132	3.6%
70～	7,419	1.5%	4,803	1.6%	12,222	1.6%
合計	482,579	100.0%	291,817	100.0%	774,396	100.0%

■集計対象の受診者総数は、774,396人(男性482,579人、女性291,817人)でした。

性別年齢階層別・所見のあった者の割合

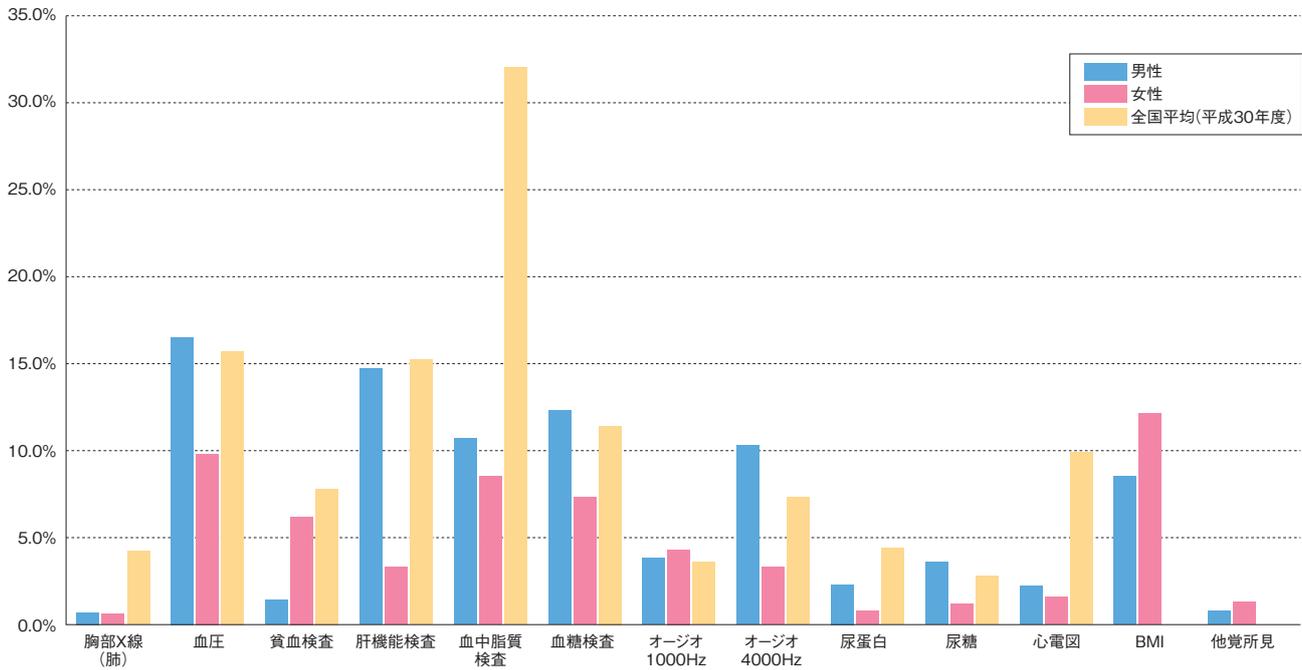


年齢(歳)	男性		女性		合計	
	有所見者数(人)	比率(%)	有所見者数(人)	比率(%)	有所見者数(人)	比率(%)
～19	938	16.6%	300	8.2%	1,238	13.3%
20～24	5,693	18.2%	2,335	11.1%	8,028	15.3%
25～29	9,397	19.5%	3,434	12.4%	12,831	16.9%
30～34	11,896	22.3%	3,689	14.4%	15,585	19.8%
35～39	15,580	27.6%	4,803	17.3%	20,383	24.2%
40～44	22,236	33.7%	8,091	21.3%	30,327	29.2%
45～49	28,325	40.3%	11,507	27.1%	39,832	35.3%
50～54	25,667	46.0%	11,324	31.3%	36,991	40.2%
55～59	21,466	50.7%	10,885	35.8%	32,351	44.5%
60～64	17,165	57.0%	9,392	42.9%	26,557	51.0%
65～69	9,794	62.3%	6,090	49.1%	15,884	56.5%
70～	4,633	62.4%	2,489	51.8%	7,122	58.3%
合計	172,790	35.8%	74,339	25.5%	247,129	31.9%

■健診項目全体の有所見率は31.9%(男性35.8%、女性25.5%)でした。

全国有所見率55.5%([全国平均(平成30年)労働衛生のしおり])と比較すると、KKC有所見率(31.9%)は低くなっています。

性別健診項目別・有所見率

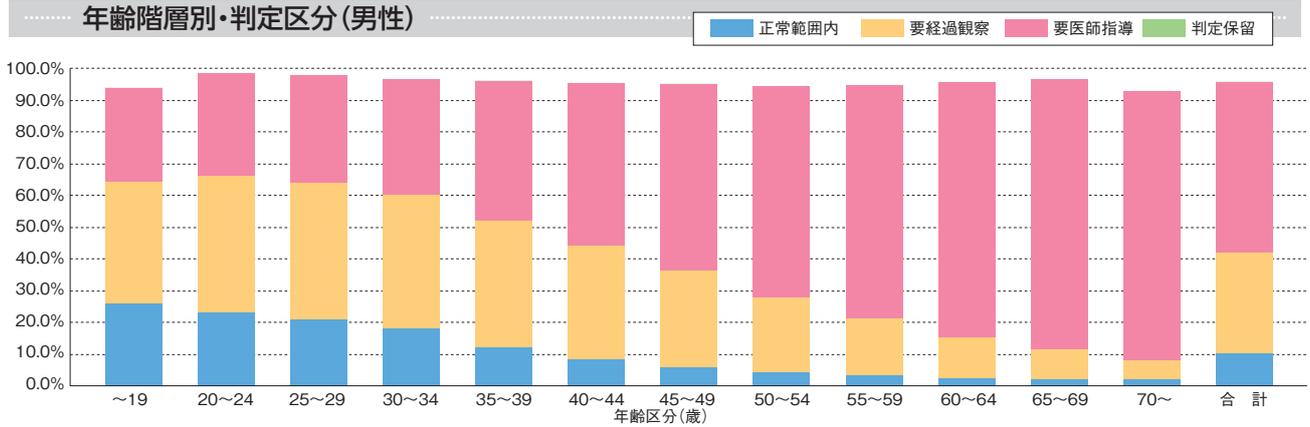


性別	胸部X線(肺)	血圧	貧血検査	肝機能検査	血中脂質検査	血糖検査	オージオ1000Hz	オージオ4000Hz	尿蛋白	尿糖	心電図	BMI	他覚所見
男性	0.7%	16.5%	1.4%	14.7%	10.7%	12.3%	3.8%	10.3%	2.3%	3.6%	2.2%	8.5%	0.8%
女性	0.6%	9.8%	6.2%	3.3%	8.5%	7.3%	4.3%	3.3%	0.8%	1.2%	1.6%	12.1%	1.3%
※全国平均(平成30年度)	4.3%	16.1%	7.7%	15.5%	31.8%	11.7%	3.7%	7.4%	4.3%	2.8%	9.9%	—	—

※「全国平均(平成30年)労働衛生のしおり」より

■胸部X線検査(肺)有所見率は1%未満と全国平均より低率です。これは過去画像との比較読影による判定精度の向上が寄与しているものと推察されます。血液検査、心電図はKKC基準による所見率です。

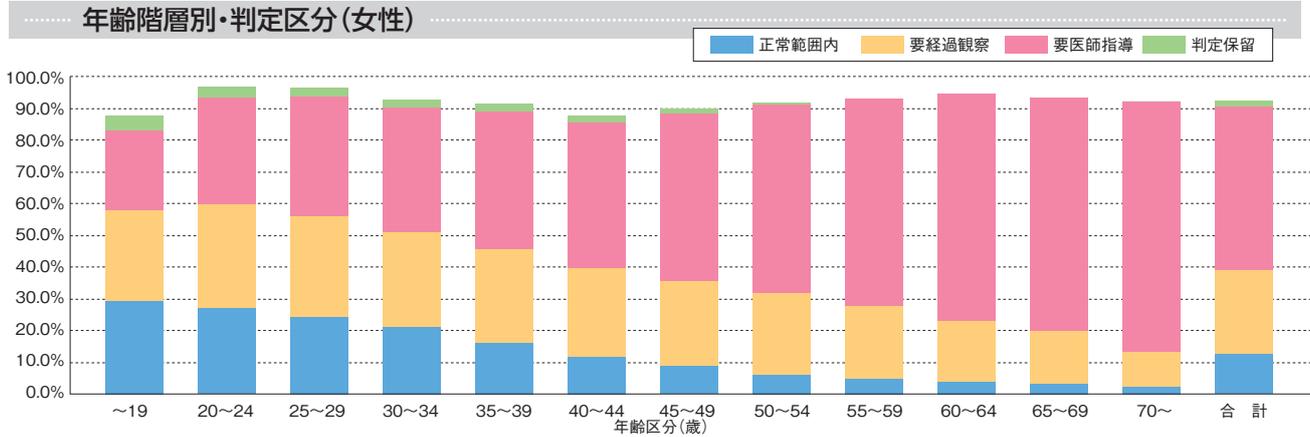
年齢階層別・判定区分(男性)



年齢(歳)	受診者数(人)	指導管理区分							
		正常範囲内		要経過観察		要医師指導		判定保留	
		人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)
~19	5,640	1,462	25.9%	2,148	38.1%	1,677	29.7%	0	0.0%
20~24	31,256	7,222	23.1%	13,348	42.7%	10,145	32.5%	0	0.0%
25~29	48,229	10,086	20.9%	20,748	43.0%	16,272	33.7%	0	0.0%
30~34	53,231	9,586	18.0%	22,395	42.1%	19,395	36.4%	0	0.0%
35~39	56,551	6,871	12.2%	22,460	39.7%	24,909	44.0%	25	0.0%
40~44	66,065	5,514	8.3%	23,589	35.7%	33,776	51.1%	18	0.0%
45~49	70,210	4,159	5.9%	21,273	30.3%	41,307	58.8%	16	0.0%
50~54	55,788	2,407	4.3%	13,116	23.5%	36,994	66.3%	11	0.0%
55~59	42,329	1,366	3.2%	7,608	18.0%	30,969	73.2%	9	0.0%
60~64	30,133	666	2.2%	3,878	12.9%	24,207	80.3%	2	0.0%
65~69	15,728	294	1.9%	1,488	9.5%	13,380	85.1%	1	0.0%
70~	7,419	149	2.0%	437	5.9%	6,282	84.7%	1	0.0%
合計	482,579	49,782	10.3%	152,488	31.6%	259,313	53.7%	83	0.0%

■2017年度健康診断の総受診者中、要経過観察は28.9%、要医師指導は58.3%で、2018年度の要医師指導は4.6ポイント減少しています。
4つの指導管理区分(正常範囲内・要経過観察・要医師指導・判定保留)の合計数と「受診者数」は、その他の要因区分により一致しません。

年齢階層別・判定区分(女性)



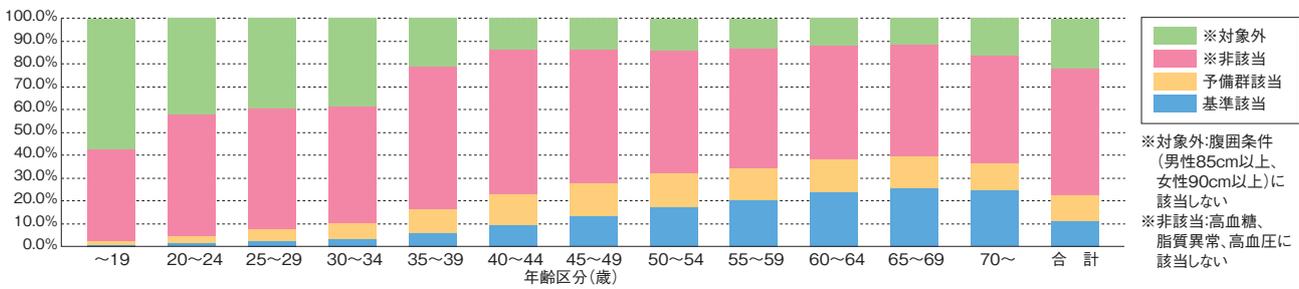
年齢(歳)	受診者数(人)	指導管理区分							
		正常範囲内		要経過観察		要医師指導		判定保留	
		人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)
~19	3,668	1,075	29.3%	1,049	28.6%	916	25.0%	184	5.0%
20~24	21,066	5,698	27.0%	6,877	32.6%	7,100	33.7%	760	3.6%
25~29	27,689	6,733	24.3%	8,773	31.7%	10,378	37.5%	823	3.0%
30~34	25,612	5,398	21.1%	7,602	29.7%	10,085	39.4%	657	2.6%
35~39	27,705	4,470	16.1%	8,185	29.5%	12,004	43.3%	717	2.6%
40~44	37,963	4,432	11.7%	10,572	27.8%	17,554	46.2%	730	1.9%
45~49	42,493	3,661	8.6%	11,419	26.9%	22,391	52.7%	707	1.7%
50~54	36,126	2,173	6.0%	9,303	25.8%	21,419	59.3%	241	0.7%
55~59	30,392	1,444	4.8%	6,961	22.9%	19,852	65.3%	19	0.1%
60~64	21,896	824	3.8%	4,197	19.2%	15,674	71.6%	3	0.0%
65~69	12,404	398	3.2%	2,047	16.5%	9,143	73.7%	0	0.0%
70~	4,803	110	2.3%	517	10.8%	3,800	79.1%	1	0.0%
合計	291,817	36,416	12.5%	77,502	26.6%	150,316	51.5%	4,842	1.7%

■2017年度 合計平均の要経過観察は25.9%、要医師指導は58.3%で、2018年度の要医師指導は6.8ポイント減少しています。
女性の判定保留の比率が高いのは、尿検査(月経血混入)によるものと考えられます。
4つの指導管理区分(正常範囲内・要経過観察・要医師指導・判定保留)の合計数と「受診者数」は、その他の要因区分により一致しません。

性別年齢階層別・メタボリックシンドローム階層化内訳

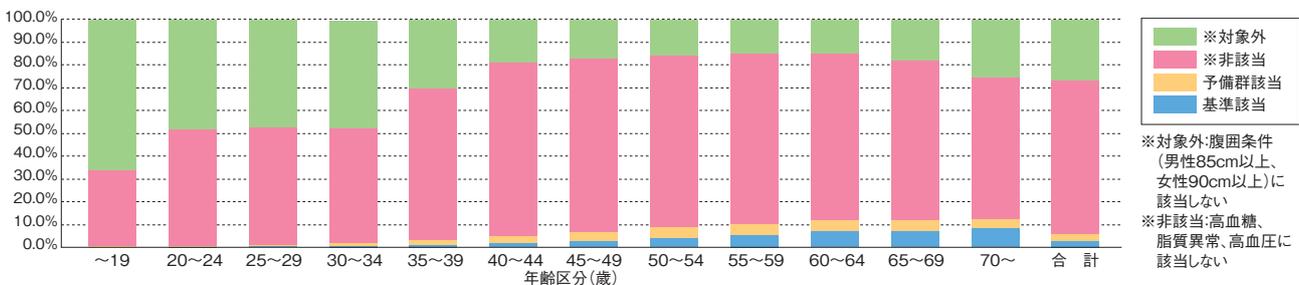
男性

年齢(歳)	受診者数(人)	メタボリックシンドローム判定内訳							
		基準該当		予備群該当		※非該当		※対象外	
		人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)
～19	5,640	41	0.7%	91	1.6%	2,260	40.1%	3,248	57.6%
20～24	31,256	408	1.3%	981	3.1%	16,685	53.4%	13,182	42.2%
25～29	48,229	1,087	2.3%	2,365	4.9%	25,643	53.2%	19,134	39.7%
30～34	53,231	1,741	3.3%	3,649	6.9%	27,181	51.1%	20,660	38.8%
35～39	56,551	3,229	5.7%	5,973	10.6%	35,186	62.2%	12,163	21.5%
40～44	66,065	6,141	9.3%	8,891	13.5%	41,948	63.5%	9,085	13.8%
45～49	70,210	9,222	13.1%	10,138	14.4%	41,251	58.8%	9,599	13.7%
50～54	55,788	9,651	17.3%	8,217	14.7%	29,910	53.6%	8,010	14.4%
55～59	42,329	8,540	20.2%	5,988	14.1%	22,144	52.3%	5,657	13.4%
60～64	30,133	7,157	23.8%	4,236	14.1%	15,145	50.3%	3,595	11.9%
65～69	15,728	4,016	25.5%	2,150	13.7%	7,759	49.3%	1,803	11.5%
70～	7,419	1,809	24.4%	891	12.0%	3,502	47.2%	1,217	16.4%
合計	482,579	53,042	11.0%	53,570	11.1%	268,614	55.7%	107,353	22.2%



女性

年齢(歳)	受診者数(人)	メタボリックシンドローム判定内訳							
		基準該当		予備群該当		※非該当		※対象外	
		人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)
～19	3,668	1	0.0%	7	0.2%	1,234	33.6%	2,426	66.1%
20～24	21,066	17	0.1%	76	0.4%	10,806	51.3%	10,167	48.3%
25～29	27,689	68	0.2%	178	0.6%	14,368	51.9%	13,075	47.2%
30～34	25,612	138	0.5%	260	1.0%	12,965	50.6%	12,249	47.8%
35～39	27,705	238	0.9%	557	2.0%	18,576	67.0%	8,334	30.1%
40～44	37,963	623	1.6%	1,159	3.1%	29,153	76.8%	7,028	18.5%
45～49	42,493	1,053	2.5%	1,741	4.1%	32,483	76.4%	7,216	17.0%
50～54	36,126	1,410	3.9%	1,743	4.8%	27,276	75.5%	5,697	15.8%
55～59	30,392	1,603	5.3%	1,497	4.9%	22,692	74.7%	4,600	15.1%
60～64	21,896	1,478	6.8%	1,095	5.0%	16,098	73.5%	3,225	14.7%
65～69	12,404	874	7.0%	616	5.0%	8,671	69.9%	2,243	18.1%
70～	4,803	391	8.1%	200	4.2%	3,000	62.5%	1,212	25.2%
合計	291,817	7,894	2.7%	9,129	3.1%	197,322	67.6%	77,472	26.5%



【メタボリックシンドロームの判定基準】



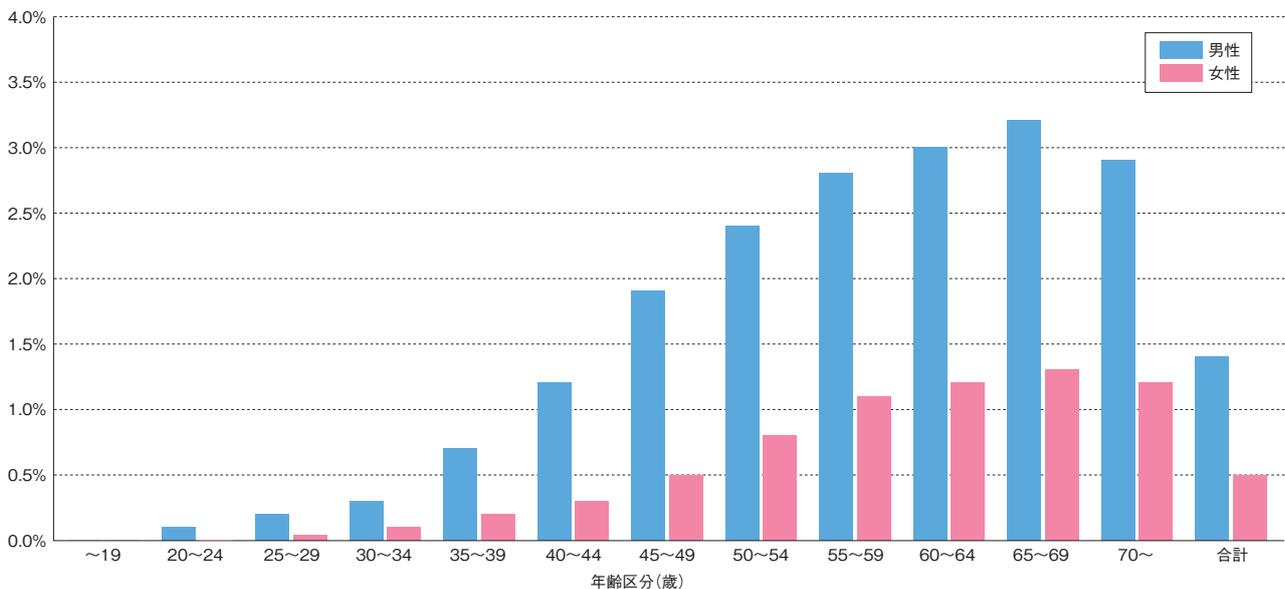
● 労災二次健康診断

労災二次健康診断対象者

■ 下記のガイドラインが示す1~4の項目全てを満たす受診者を対象とし、脳虚血疾患や虚血性心疾患といった動脈硬化性疾患の精密検査を目的としたものです。その対象者の割合の高さは事業所の健康度の指標となります。
2018年度の検査対象者の割合は、受診者の1.1% (男性1.4% 女性0.5%)、前年(受診者の1.2% (男性1.5% 女性0.6%))に比べ0.1ポイント減少しています。

項目	年齢(歳)	男性			女性			合計		
		受診者数(人)	労災二次対象(4項目該当)		受診者数(人)	労災二次対象(4項目該当)		受診者数(人)	労災二次対象(4項目該当)	
			人数(人)	比率(%)		人数(人)	比率(%)		人数(人)	比率(%)
労災二次対象者	~19	5,640	0	0.0%	3,668	0	0.0%	9,308	0	0.0%
	20~24	31,256	22	0.1%	21,066	1	0.0%	52,322	23	0.0%
	25~29	48,229	91	0.2%	27,689	11	0.0%	75,918	102	0.1%
	30~34	53,231	163	0.3%	25,612	27	0.1%	78,843	190	0.2%
	35~39	56,551	377	0.7%	27,705	49	0.2%	84,256	426	0.5%
	40~44	66,065	778	1.2%	37,963	126	0.3%	104,028	904	0.9%
	45~49	70,210	1,363	1.9%	42,493	206	0.5%	112,703	1,569	1.4%
	50~54	55,788	1,364	2.4%	36,126	300	0.8%	91,914	1,664	1.8%
	55~59	42,329	1,189	2.8%	30,392	324	1.1%	72,721	1,513	2.1%
	60~64	30,133	905	3.0%	21,896	257	1.2%	52,029	1,162	2.2%
	65~69	15,728	506	3.2%	12,404	162	1.3%	28,132	668	2.4%
70~	7,419	218	2.9%	4,803	56	1.2%	12,222	274	2.2%	
合計	482,579	6,976	1.4%	291,817	1,519	0.5%	774,396	8,495	1.1%	

階層別・労災二次健診対象者(4項目該当)



[労災二次健康診断を行う有所見の診断についてのガイドライン]

以下の検査の1~4の項目すべてを満たすもの

1. 血 圧 : 収縮期血圧140mmHgまたは、拡張期血圧90mmHg以上
2. 血中脂質 : LDLコレステロール140mg/dl以上、又はHDLコレステロール40mg/dl未満、またはトリグリセライド150mg/dl以上
3. 血 糖 : 空腹時血糖値(食後8時間以上) : 110mg/dl 食後血糖値(食後8時間未満) : 140mg/dl以上^{*1}
HbA1c(NGSP) : 6.0%以上
4. 肥 満 : BMI25以上、二次健診時に内蔵脂肪型肥満の判定として、ウエスト周囲径 男性85cm以上、女性90cm以上

[対象者除外条件]

治療中(内容コード=4)「脳梗塞、脳出血など他の脳血管疾患、虚血性心疾患、その他の心疾患」
(日本医師会監修、「2次健康診断項目と特定保健指導のガイドライン」2001より改変)

^{*1}KKC有所見追加基準

● 特殊健康診断

概要

特殊健康診断の受診者数は、厚生労働省の統計では増加傾向にあります。KKCの集計においても概ね増加しています。特に、有機溶剤・特定化学物質等の取扱者に対する健康診断受診者数の増加は続いています。主に製造業における新規導入化学物質の取扱い量の増加によるものと考えられ、それにとまない健康診断受診数が増加しています。

1. 特殊健康診断の所見率

①じん肺健康診断

■前年に比べ受診者数は減少しているものの、管理区分2以上の有所見率は近年1%未満で推移しており、厚生労働省の調査より低値を示しています。

対象物質	受診者数	管理区分（小陰影区分）											
		0/-	0/0	0/1	1/0	1/1	1/2	2/1	2/2	2/3	3/2	3/3	3/+
じん肺	7,293	2	7,253	21	3	3	4	1	6	0	0	0	0
	比率	0.03%	99.45%	0.29%	0.04%	0.04%	0.05%	0.01%	0.08%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

②有機溶剤健康診断

■前年に比べ受診者数は増加しており、各管理区分の内訳は、B1が増加しています。増加の要因は、尿定性検査の基準値変更によるものです。

対象物質	受診者数	管理区分						
		A	B1	B2	C	R	T	TO
有機溶剤	46,035	28,843	8,434	0	0	34	6,674	2,050
	比率	62.65%	18.32%	0.00%	0.00%	0.07%	14.50%	4.45%

③鉛健康診断

■前年に比べ受診者数は増加しているものの、各管理区分の内訳に、大きな変化は認めません。

対象物質	受診者数	管理区分						
		A	B1	B2	C	R	T	TO
鉛	3,357	2,554	0	0	0	2	690	111
	比率	76.08%	0.00%	0.00%	0.00%	0.06%	20.55%	3.31%

④特定化学物質等健康診断

■前年に比べ受診者数は増加しており、各管理区分の内訳は、B1が増加しています。増加の要因は、尿定性検査の基準値変更によるものです。

対象物質	※延べ受診者数	管理区分						
		A	B1	B2	C	R	T	TO
特定化学物質	59,532	43,860	3,387	11	0	19	10,644	1,611
	比率	73.67%	5.69%	0.03%	0.00%	0.03%	17.88%	2.71%

※個人で複数の化学物質対象がある為、延べ受診者数で表記しています。

⑤石綿健康診断

■前年に比べ受診者数は増加しているものの、各管理区分の内訳に大きな変化は認めません。

対象物質	受診者数	管理区分						
		A	B1	B2	C	R	T	T0
石綿	4,842	3,117	0	8	0	0	1,656	61
	比率	64.37%	0.00%	0.17%	0.00%	0.00%	34.20%	1.26%

⑥電離放射線健康診断

■前年に比べ受診者数は減少しているものの、各管理区分の内訳に大きな変化は認めません。

対象物質	受診者数	管理区分						
		A	B1	B2	C	R	T	T0
電離放射線	7,367	5,281	279	38	0	35	1,474	260
	比率	71.68%	3.79%	0.52%	0.00%	0.48%	20.01%	3.53%

⑦酸等取扱いの歯科健康診断

■前年に比べ受診者数は増加しているものの、各管理区分の内訳に大きな変化は認めません。

健康診断名	受診者数	管理区分				
		特別	1	2	3	4
歯科	5,450	10	1,444	3,967	32	4
	比率	0.18%	26.50%	72.79%	0.59%	0.07%

2. 指導勧奨による健康診断の所見率

紫外線・赤外線業務従事者健康診断

■前年に比べ受診者数は減少しているものの、各管理区分の内訳に大きな変化は認めません。

健康診断名	受診者数	管理区分						
		A	B1	B2	C	R	T	T0
紫外線・赤外線業務従事者	2,012	1,714	6	2	0	0	3	287
	比率	85.19%	0.30%	0.10%	0.00%	0.00%	0.15%	14.26%

騒音作業健康診断

■前年に比べ受診者数は増加しているものの、各管理区分の内訳に大きな変化は認めません。

健康診断名	受診者数	管理区分								
		A	A'	B'	B1	B2	C	R	T	T0
騒音作業	14,602	5,251	4,877	3,193	545	348	0	0	131	257
	比率	35.96%	33.40%	21.87%	3.73%	2.38%	0.00%	0.00%	0.90%	1.76%

T：聴力検査の結果、当該因子以外の原因による疾病にかかっている場合、または異常が認められる場合（管理 Rに属するものを除く）

T0：当該因子以外の原因と考えられる異常を一部に認めるが、直ちに治療等を必要としないもの

VDT作業健康診断

■前年に比べ受診者数は増加しているものの、各管理区分の内訳に大きな変化は認めません。

健康診断名	受診者数	管理区分						
		A	B1	B2	B3	C	T	T0
VDT作業	13,119	7,851	448	1,815	0	0	990	2,015
	比率	59.84%	3.41%	13.83%	0.00%	0.00%	7.55%	15.36%

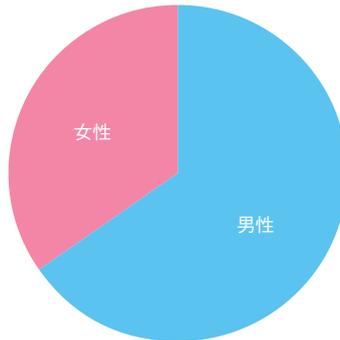
ストレスチェック

ストレスチェック集計(全般)

集計対象期間	2018/04/01 ~ 2019/03/31	受検者数	97,787	受検事業所数	1,049
--------	-------------------------	------	--------	--------	-------

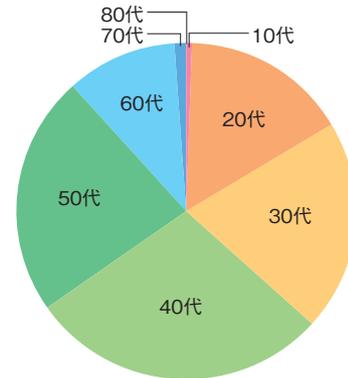
性別	受検者数	割合
男性	64,007	65.5%
女性	33,780	34.5%

■受診割合:全体集計



年齢階層	受検者数	割合
10代	582	0.6%
20代	15,468	15.8%
30代	19,902	20.4%
40代	27,975	28.6%
50代	22,539	23.0%
60代	10,261	10.5%
70代	1,034	1.1%
80代	26	0.0%

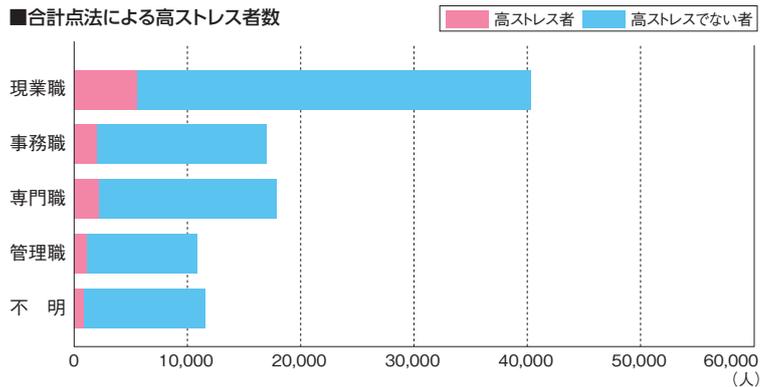
■年齢別受診割合:全体集計



■合計点法高ストレス者割合

	高ストレス者数	受検者数	割合
現業職	5,544	40,379	13.7%
事務職	2,038	17,033	12.0%
専門職	2,203	17,853	12.3%
管理職	1,098	10,907	10.1%
不明	832	11,615	7.2%

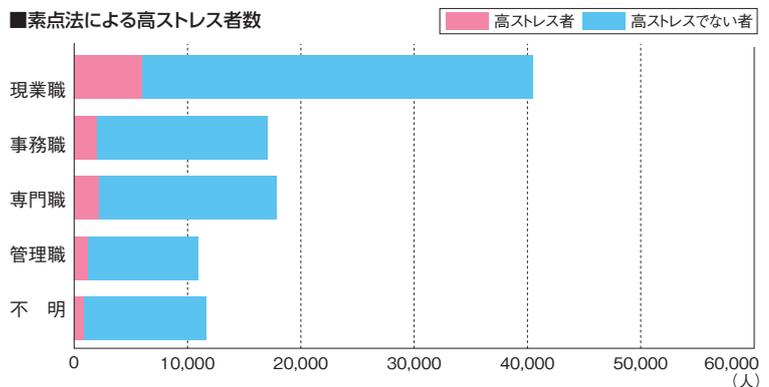
■合計点法による高ストレス者数



■素点法高ストレス者割合

	高ストレス者数	受検者数	割合
現業職	5,932	40,379	14.7%
事務職	1,984	17,033	11.6%
専門職	2,169	17,853	12.1%
管理職	1,201	10,907	11.0%
不明	833	11,615	7.2%

■素点法による高ストレス者数



高ストレス者を選定するための方法<基本となる考え方>

■次の①及び②に該当する者を高ストレス者として選定します。

①「心身のストレス反応」に関する項目の評価点の合計が高い者

②「心身のストレス反応」に関する項目の評価点の合計が一定以上であり、かつ「仕事のストレス要因」及び「周囲のサポート」に関する項目の評価点の合計が著しく高い者

■上記①及び②に該当する者の割合については、評価基準の例では概ね全体の10%程度としていますが、それぞれの事業場の状況により、該当者の割合を変更することが可能です。

-厚生労働省HPより抜粋-

■集団分析全国平均

性別	量的負荷	コントロール	上司の支援	同僚の支援
男性	8.7	7.9	7.5	8.1
女性	7.9	7.2	6.6	8.2

出典:平成19年度総括・分担報告書
表4.職業性ストレス簡易調査票下位尺度の職種別平均値 および標準集団との比較より
(厚生労働科学研究費補助金労働安全衛生総合研究事業「職業性ストレス簡易調査票及び労働者の疲労蓄積度自己診断チェックリストの職種に応じた活用法に関する研究」)

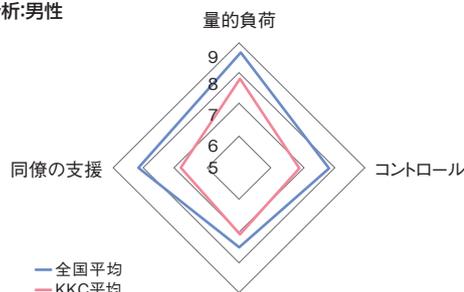
■集団分析KCCにて受検された事業所全体の平均

性別	量的負荷	コントロール	上司の支援	同僚の支援
男性	7.9	6.9	7.1	6.8
女性	7.6	7.1	7.4	6.6

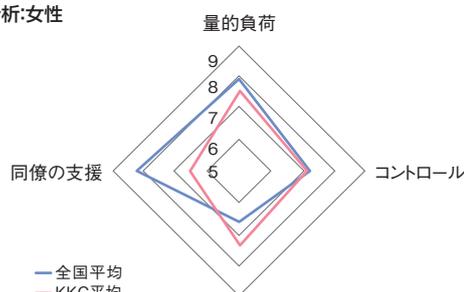
■全国平均とKCC平均の差

性別	量的負荷	コントロール	上司の支援	同僚の支援
男性	0.8	1.0	0.4	1.3
女性	0.3	0.1	-0.8	1.6

■集団分析:男性



■集団分析:女性



男性は、大部分の項目において全国平均を下回っています。

■集団分析職種別全国平均(東京医科大学より)

性別	職種	量的負荷	コントロール	上司の支援	同僚の支援
男性	現業職	8.5	7.5	7.4	8.0
	事務職	8.6	8.0	7.7	8.2
	専門職	8.7	7.9	7.4	8.0
	管理職	9.1	8.4	8.0	8.4
女性	現業職	7.5	7.2	6.3	7.8
	事務職	7.6	7.6	6.8	8.1
	専門職	7.9	7.2	6.7	8.2
	管理職	9.3	7.7	6.7	8.0

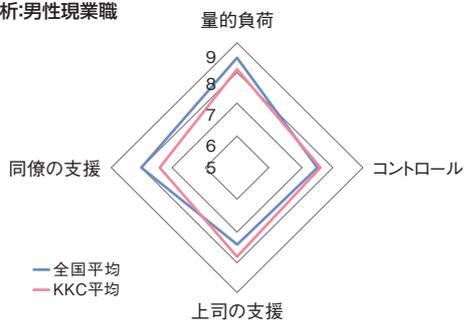
■集団分析KCCにて受検された事業所職種別の平均

性別	職種	量的負荷	コントロール	上司の支援	同僚の支援
男性	現業職	8.1	7.6	7.8	7.4
	事務職	8.3	7.2	7.4	7.2
	専門職	8.7	7.1	7.4	7.0
	管理職	9.0	6.8	7.3	7.1
	不明	4.2	3.9	4.0	3.8
女性	現業職	7.8	7.8	8.1	7.1
	事務職	7.6	7.2	7.7	7.1
	専門職	8.9	7.5	7.3	6.6
	管理職	9.4	7.0	7.2	6.8
	不明	4.6	4.4	4.5	4.1

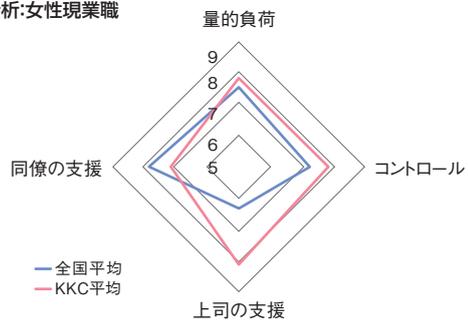
■全国平均とKCC平均の差

性別	職種	量的負荷	コントロール	上司の支援	同僚の支援
男性	現業職	0.4	-0.1	-0.4	0.6
	事務職	0.3	0.8	0.3	1.0
	専門職	0.0	0.8	0.0	1.0
	管理職	0.1	1.6	0.7	1.3
女性	現業職	-0.3	-0.6	-1.8	0.7
	事務職	0.0	0.4	-0.9	1.0
	専門職	-1.0	-0.3	-0.6	1.6
	管理職	-0.1	0.7	-0.5	1.2

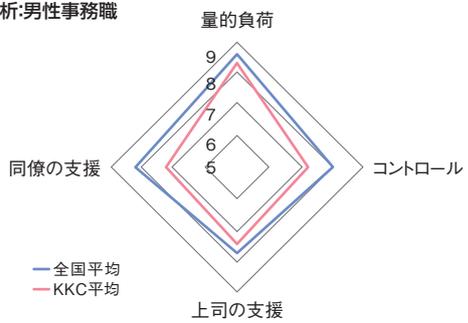
■ 集団分析: 男性現業職



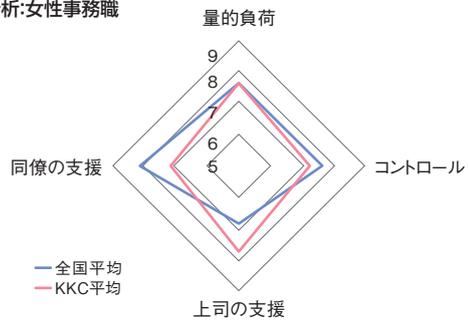
■ 集団分析: 女性現業職



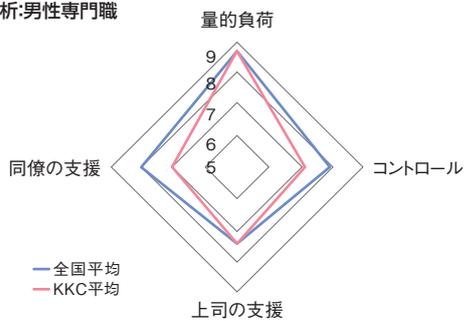
■ 集団分析: 男性事務職



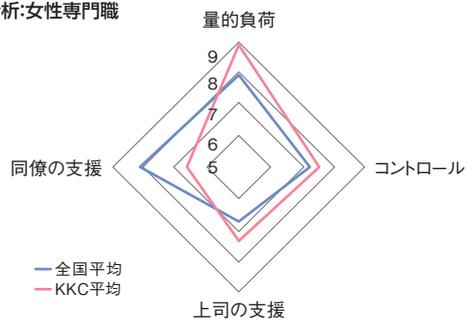
■ 集団分析: 女性事務職



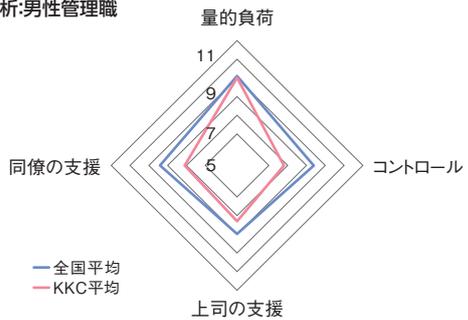
■ 集団分析: 男性専門職



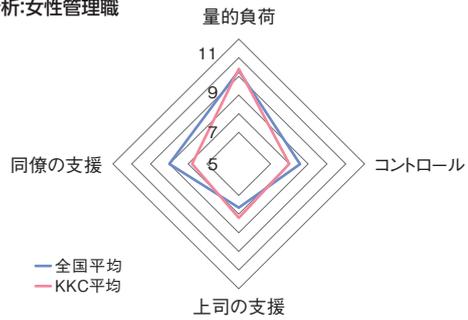
■ 集団分析: 女性専門職



■ 集団分析: 男性管理職



■ 集団分析: 女性管理職



性別や職種によってパターンに違いが認められます。



KKC 近畿健康管理センター
URL <https://www.zai-kkc.or.jp/>



- インキ:環境配慮型インキ(植物油インキ or ノンVOCインキ)
- 印刷:有害な廃液を排出しない水なし印刷